



## 沿革 - 年表

<b>1960</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• アメリカ人、ロバート・ミラーとチャールズ・フィーニーが香港で Tourists International を創業。当時、免税でのショッピングはまだ黎明期で、これが後の Duty Free Shoppers (DFS) となります。2人は、第二次世界大戦後に航空機による海外渡航が発達したことを背景に、兵士やアジア人旅行者の購買力が上昇することを見通していました。</li><li>• 1960年11月7日、2人は Tourists International および Cars International を母体として、ウォーターフロントのワンチャイ地区にショップとショールームをオープン。後に Rediffusion House と呼ばれます。当時は、アメリカ人兵士をターゲットに免税で車とアルコール類を販売することが中心でした。</li></ul>
<b>1961</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• Tourists International が啓徳空港での免税事業に対する入札により、初の空港店舗をオープン（このときに Duty Free Shoppers という名称を採用しますが、これは知人であり軍関係の実業家でもあるスチュアート・デーモンとハリー・アドラーから買い受けたものでした）。</li></ul>
<b>1962</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 1962年10月22日、Tourists International は入札で、ホノルルに 120 平方メートルの店舗を獲得。ハワイは、1959年に 50 番目の州となった後、急激に観光産業が発展していました。</li></ul>
<b>1964</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• この年、日本では海外旅行規制が解除。日本人の海外旅行ブームが始まり、その後 22 年間、毎年 19% ずつ海外旅行者数が増え続けることとなります。</li></ul>
<b>1965</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 起業当初の主力であった軍関連の事業を停止。Tourists International および Cars International の名前も廃止し、Duty Free Shoppers (DFS) に一本化します。</li></ul>
<b>1966</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 日本の海外旅行規制の完全撤廃に伴い、日本人の海外旅行や欧米の高級品に対する憧れが高まっていることを認識。</li><li>• そこで、日本人に人気の高い旅行先に店舗をオープンし、日本語を話せる従業員を配置。さらに日本でのアフターサービスも開始することとなります。</li></ul>



<b>1968</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• DFS 初の市中店として、ホノルル（ワイキキ・ビジネス・プラザ）および香港（九龍のハンコウロード）をオープン。これには、旅行者のニーズに応えること、繁華街での買い物と空港への配送に便利なこと、高級品などを幅広い品ぞろえで扱えること、旅行代理店がショッピングをツアーに組み込む際に便利なことなど、現在にも通じる理由が挙げられます。</li></ul>
<b>1969</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• アラスカ州アンカレッジに、北米初となる空港店*をオープン。</li></ul>
<b>1970</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 日本にアフターサービスの事務所を開設。後に「100% グローバル保証」となる制度の礎を築きました。</li></ul>
<b>1971</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 香港に、DFS の店舗で販売する宝飾品の製造を担う子会社として Classic Jewelers を創設。</li><li>• グアムに、ホテル内店舗をオープン。</li></ul>
<b>1972</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• さらにグアムに、市中店と空港店の 2 店舗をオープン。</li></ul>
<b>1973</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 香港の目抜き通りである、九龍のネイザンロードに店舗をオープン。</li><li>• サンフランシスコ国際空港およびサンフランシスコ市内*に店舗をオープン。アメリカ市場に本格進出を果たしました。</li></ul>
<b>1974</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• カリフォルニア州オークランドに空港店*をオープン。</li></ul>
<b>1975</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ホノルルに旗艦店となる DFS ワイキキ スクエア店をオープン。</li></ul>
<b>1976</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ロサンゼルスに市中店*、サイパンに初の店舗をオープン。</li></ul>
<b>1978</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• シンガポールのパヤ・レバーに店舗をオープン。</li></ul>
<b>1980</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 新設されたシンガポールのチャンギ国際空港に店舗をオープン。それを皮切りに、ホテル内店舗やギャラリー（当初はタングリ、その後スコッツウオークに移転）のオープンが続くこととなります。</li></ul>
<b>1982</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ロバート・ミラーの依頼により、アメリカを代表するポップアーティスト、アンディ・ウォーホル氏が DFS ロゴを製作。</li></ul>



<b>1995</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>グアムの繁華街に初のギャラリア市中店をオープン。高品質なアイテムを扱うスペシャルティストアとしての方向性を確立し、空港以外でも旅行者をターゲットに売上を上げることを目標とします。</li></ul>
<b>1996</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>LVMH がチャールズ・フィーニーの持ち株を買い上げることで、DFS グループの過半数の株式を取得。</li><li>同社の DFS への投資は、高級品とトラベルリテールを掛け合わせたビジョンの現れです。それをきっかけに DFS は、ラグジュアリーとファッションを重視した事業へと軸足を移しました。</li></ul>
<b>1997</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>アジア通貨危機が香港を直撃。DFS はその嵐を乗り越えようと、ギャラリアのネットワークを拡大する決断をします。それに伴い、事業を高価格帯市場へと推し進め、今まで日本人に偏っていたターゲットも多角的になるよう改めました。</li></ul>
<b>1999</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>エドワード・ブレナンが CEO に就任。</li></ul>
<b>2003</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>北京に、中国本土初のアフターサービス事務所を開設。</li></ul>
<b>2004</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>本社をサンフランシスコから香港へと移転。</li></ul>
<b>2005</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>沖縄に、ショップ・イン・ショップ型のコンセプトを反映した初のブランドブティックをオープン。</li></ul>
<b>2006</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>メンバー制プログラム「プラチナサービスクラブ」を開始。世界のお得意様向けに、リムジンサービスや VIP ラウンジ、スペシャルイベントへの招待といった特典を提供するために設立されました。</li></ul>
<b>2008</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>アラブ首長国連邦の首都、アブダビに空港店をオープン。アジアからヨーロッパに向かう旅行者に向けたサービスが可能になりました。</li><li>マカオに店舗をオープン。</li></ul>
<b>2009</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>レベルの高い商品知識と、アカデミックとも言える本格的な体験をお客様に提供する「マスターズ」プログラムを開始。第 1 弾はマカオで開催した「マスターピース・オブ・タイム」でした。</li></ul>



<b>2010</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 11月6日、DFS創業50周年の記念行事を香港のDFSギャラリア各店で開催。この記念すべき節目に、香港のDFS各店は当日の売上の5%を地元の慈善団体に寄付しました。</li><li>● 一流のスタッフ育成を目的とした教育機関、DFSユニバーシティを設立（リーダーシップおよび能力育成センター、ファッション&amp;アクセサリー、化粧品&amp;フレグランス、ウォッチ&amp;ジュエリー、ワイン&amp;スピリッツの各スクールで構成）。</li></ul>
<b>2012</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● フィリップ・シャウスが会長およびCEOに就任。</li><li>● シビル・シェーラーがラグジュアリーの世界で20年以上かけて培った経験を買われ、コンシューマー・マーケティング&amp;ブランディングのプレジデントに就任。</li><li>● シンガポールで、第1回スピリッツのマスターズを開催。</li><li>● 香港、コーズウェイベイの中心に市中店を新規出店。</li><li>● 香港国際空港の主要3分野に対する販売許可を取得*。</li></ul>
<b>2013</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ニューヨークのJFK国際空港・第4ターミナルに店舗をオープン。</li><li>● ロサンゼルス国際空港のトム・ブラッドレー国際線ターミナルの拡張で完成した新しい施設に、唯一の免税業者として出店。</li><li>● 成長戦略において次のステージに備えるため、市中のギャラリア店を「Tギャラリア」としてブランディングを一新し、企業ロゴも変更。さらに、空港店を地域の特性を活かした業態で展開する戦略も発表しました。</li><li>● 120の提携ブランドを対象に、DFSインサイトソートリーダーシップ会議をハワイのホノルルにて開催。</li></ul>
<b>2014</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 中国国家観光局（CNTA）の中国アウトバウンド旅行品質サービス認証を取得。国際的に信頼のおける、質の高いラグジュアリートラベルリテール企業という地位を確固たるものにしていきます。</li><li>● ロイヤルTプログラムを開始。ハイレベルでパーソナルなサービスと、グローバルなお買い物に対する各種特典を盛り込んだプログラムです。</li><li>● アブダビにて、第1回フレグランスのマスターズを開催。</li></ul>



<b>2015</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● シンガポールのチャンギ空港・第3ターミナルに、ワインとスピリッツを扱うメゾネットの新型店舗をオープン。業界では初の試みであり、空港でワイン、スピリッツ、タバコを扱う店舗としては世界最大の店舗となりました。店内には、ラッフルズ・ホテル以外で唯一認められた「ラッフルズ・ロング・バー」も併設しています。</li><li>● 消費者の嗜好や行動の変化を受けて、化粧品に特化したコンセプトストア「T ギャラリー ビューティ by DFS」を展開。1号店はマカオのギャラクシーマカオにオープンし、2号店は香港のコースウェイベイにあるハイサンプレイスの店舗が生まれ変わりました。</li><li>● シビル・シェーラーが、マーチャンダイジング&amp;コンシューマーブランディングのプレジデントを兼任。お客様の進化に合わせて、品ぞろえに関する新機軸を打ち出し、ストアでのショッピング環境を一新するというDFSの方針を強化する人事となっています。</li></ul>
<b>2016</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● シェムリアップに、カンボジア最大のラグジュアリー免税ストアとして「T ギャラリー アンコール by DFS」をオープン。</li><li>● T ギャラリー マカオ by DFS シティ オブ ドリームス店の拡張に伴い、DFS 初の大規模な靴売り場を設置。</li><li>● シンガポールのチャンギ空港 第2ターミナルに、ワイン&amp;スピリッツを扱う2店目のメゾネット型店舗をオープン。</li><li>● イタリアのヴェネツィアに、ヨーロッパ初の店舗である T フォンダコ デイ テデスクをオープン。</li></ul>
<b>2017</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 2021 年前半、パリのラ サマリテーヌに T ギャラリーの店舗をオープン予定と発表。</li><li>● シンガポールのチャンギ空港第4ターミナルに、ワインとスピリッツのストアをオープン。同空港では3店舗目であり、初の「ウォークスルー型」コンセプトとなります。</li><li>● エド・ブレナンが会長および CEO として DFS に復帰。</li><li>● サンフランシスコ国際空港の国際線において、今後 14 年間に及ぶ免税およびラグジュアリーストアの営業権を更新。</li></ul>
<b>2019</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 香港の旗艦店である T ギャラリー 香港 by DFS カントンロード店の改装を開始。</li><li>● 香港では T ギャラリーとしては4店舗目、化粧品専門店としては2店舗目となる T ギャラリー ビューティ 香港 by DFS MOKO 店をオープン。</li><li>● マカオでは T ギャラリーとしては7店舗目、化粧品専門店としては4店舗目となる T ギャラリー</li></ul>



	アビューティ マカオ by DFS ウィンパレス店をオープン。
<b>2021</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ベンジャミン・ヴュショが会長および CEO に就任。</li><li>• 深圳市国有免税商品（集団）と提携し、海南省の海口ミッションヒルズに市中免税店をオープン。</li><li>• 2023 年、オーストラリアのクイーンズワーフブリスベンに、T ギャラリーの店舗をオープン予定と発表。</li><li>• 2022 年、ニュージーランドのクイーンズタウンに、初の「リゾートギャラリー」コンセプトとなる T ギャラリーをオープン予定と発表。</li><li>• ヨーロッパでは 2 店舗目となるサマリテーヌ パリ ポンヌフ by DFS をフランス、パリの歴史的建造物「ラ サマリテーヌ」内にオープン。</li></ul>

\*後に閉店